



全国学校給食週間は、学校給食の意義や役割などについて理解と関心を高め、より一層の充実をはかることを目的として定められました。

学校給食は、戦争により中断していましたが、アメリカの LARA（アジア救済公認団体）等の物資援助で再開されました。昭和 21 年 12 月 24 日に給食物資の贈呈式が行われ、この日を「学校給食感謝の日」と定め、後に冬休みと重ならない 1 カ月後の 1 月 24 日～30 日が「全国学校給食週間」となりました。



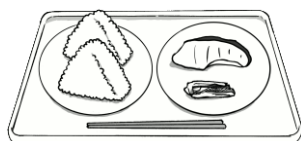
…知っていますか?…

学校給食の始まり



学校給食は、明治 22 年（1889 年）山形県の私立忠愛小学校で家が貧しい子どもたちへ、無償で昼食を出したのが始まりと言われています。

当時の献立は「塩さけ・おにぎり・漬物」だけだったそうです。



給食はおいしい 生きた教材



昔は、お腹を満たすための給食でしたが、学校給食は、栄養バランスのとれた献立で子どもたちの心身の成長を支えるだけではなく、体に必要な栄養素や、バランスのとれた食生活の大切さや、感謝の心などを学ぶことができる「生きた教材」として活用されています。



《 佐世保市の給食の歴史 》



振り返ってみましょう！

昭和 23 年 11 月	脱脂粉乳による、給食が始まりました。	昭和 52 年	牛乳が瓶からパックになりました。
昭和 25 年	広田小学校で完全給食（パンとおかずがそろった）が始まりました。	昭和 56 年 3 月	いくつかの小学校で、週に 1 回、米飯給食が始まりました。
昭和 26 年	市内 24 校で、完全給食が始まりました。	昭和 61 年	米飯給食が、週 2 回になりました。
昭和 45 年	市内すべての小学校で、完全給食が始まりました。	平成 2 年	米飯給食が、週 3 回になりました。
昭和 46 年	脱脂粉乳が、すべて牛乳（瓶）になりました。	平成 6 年 9 月～ 平成 7 年 2 月	水不足のため、特別献立が実施されました。